

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 仲野

山名	石鎚山	山行名	10月例会
ルート	土小屋登山口～二ノ鎖元小屋～石鎚山～石鎚神社～石鎚神社頂上山荘～二ノ鎖元小屋～土小屋登山口		
山行日	2024年10月20日(日)～21日(月)	天候	晴れのち曇り
参加者	リーダー：仲野 サブリーダー：多田 魚谷、川田(弘)、高山、永井、原田、森田、山内、米田 男性3名女性7名 合計10名		

コースタイム					
10月20日(日)			10月21日(日)		
土小屋登山口	発	12:45	石鎚神社頂上山荘	発	7:19
二ノ鎖元小屋	着	15:08	二ノ鎖元小屋	着	7:41
	発	15:29		発	7:52
石鎚山	着	15:56	土小屋登山口	着	9:52
石鎚神社頂上山荘	着	16:11			



紅葉ベストシーズンで、駐車場が混雑していることも考えて京田辺を5時に出発し西日本最高峰石鎚山を目指した。某車のコマーシャルにも使われているUF0ラインは濃い霧に包まれ視界が悪い中、どうにか登山口に到着。登山を開始した。紅葉を楽しみにしての山行だったが霧の中でのスタートとなったが、下山して来られる方から、「上は素晴らしい雲海が広がっていますよ!!」との言葉に安堵しながら山頂を目指した。

二ノ鎖元小屋まで登ると雲を抜け、見事な雲海と紅葉の中の天狗岳を望むことができた。そこからは鎖場と巻道を行くメンバーに分かれて山頂を目指した。午後から上る登山客は少ないので鎖場は貸し切り状態でそれぞれ自分のペースで挑戦できた。

山頂からは「滝雲」という自然現象を見ることができた!! (右下写真)

滝雲は時間帯や季節、前日からの寒暖差や湿度、様々な条件が重なってそれでもなかなか見ることができない現象のようだ。

滝雲に、夕日に染まった空に、紅葉した天狗岳の山容は、神話の世界のようでした。

2日目は朝から霧と強風で、残念ながら天狗岳登頂は断念した。1日目にザックをおいて天狗岳まで行ってしまえばよかったか、と反省も残る。帰りの車から剣山が見え、「次はあの山に登ろう!!」と話しながら帰路に着いた。



ヒヤリハット なし

感想

魚谷

10月20-21日、西日本最高峰愛媛県石鎚山。初心者教室終了後初めての山行に参加しました。百名山への登山や山小屋宿泊も初とあって、山行前から期待と不安が交錯。結論から言うと、お天気と同行メンバーに恵まれ素晴らしい経験をさせていただきました。登山口までの道中、霧の晴れ間に姿を見せた紅葉を纏って切り立つ山肌の絶景、山頂から望む波打ち寄せるような雲海、幾重にも連なる山並みの遙か向こうに沈みゆく荘厳な夕陽…。言葉には尽くせない数々の感動をもらいました。

末筆となりますが、仲野さん・原田さんには、霧で視界が効かないワインディングロードを含む長距離ドライブ、本当にお疲れ様でした。感謝の気持ちでいっぱいです。

川田(弘)

西日本最高峰の山、石鎚山。憧れの山でした。今回、スリル満点の二の鎖、三の鎖にも挑戦しました。苦勞しましたが、Y懸で学んだ三点確保の訓練が役に立ち無事山頂まで登り切りました。達成感は一とおです。また、天狗岳の威容は圧巻でした。今回は行けませんでした。いつかトライしてみたいですね。同行していただいた皆さんお世話になりありがとうございました。

山内

石鎚山山頂へのルート、途中、霧や寒さに見舞われ、金属の穴あき階段を恐々上りつつ、山頂に近づくにつれ、どこまでも雲海が広がり、崖に立つ赤や黄色の木々、幾重にも重なる山々の美しさに魅了されました。残念ながら、夜から翌日にかけては、深い霧に包まれました。が、山頂の石鎚神社にて、夕拝、朝拝に参加し、寒風吹き荒ぶ中、共に詔を読んだり、玉串を捧げたり、三つの御神体に触れさせてもらったり、貴重な体験をさせていただきました。そして何よりも、道中や下山後のおしゃべりが楽しく、山の会で参加させてもらうありがたさを感じました。1500m 辺りまで車で行けるのですが、その分、京田辺から愛媛県まで長時間、また、くねくねした険しい山道を厭うことなく運転して下さった原田さん、仲野さんに、特に、感謝申し上げます。

